

ジングル・ベル

ソロ・ギターの
しらべ 至上のジャズ・アレンジ篇

難易度

B

今ではクリスマス・ソングの
定番となったこの曲をジャジィにプレイ

CD
Track

27

「JINGLE BELLS」 Words & Music by JAMES (JS) PIERPONT

JSピアポントが1857年に作曲。もともとは当時流行していた馬そり競争の歌で、クリスマスとは直接関係なかったという。

①メロディを短く切る部分(1小節目の4拍目など)は、弾いたあとに左手のあいた指でその弦に触れて止めるか、右手を弦に乗せて消音(私の場合は両手を併用しているが、左手の消音の方がより有効かもしれない)。最後のベース音は、フォーム・チェンジするため短くてOK。

②人差指による4弦2f・E音は伸ばしておきたい。6弦2f・E音の中指は、押さえっぱなしではなく必要な時だけ押さえ、あとは離す(写真1~2)。**A** 5小節目の2拍目で、4弦2fを人差指から中指にチェンジ。

③ここの×は、親指で5弦または6弦を叩くようにして弦が指板に当たる音を出している(P.89:「特殊奏法」参照)。続くD(♯5)はすべてストロークで。

④フォーム・チェンジが比較的早めなので、丁寧に(図1~3)。

⑤ここのハーモニックスは、ストロークではなく1弦ずつピッキングして弾く(じゃらーんという感じ)。

● 奏法ポイント ●

●写真1



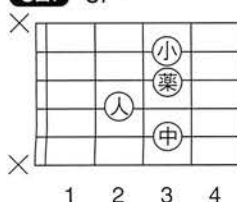
中指は必要な時だけ押さえ、あとは離しておく。こちらは離した状態。

●写真2

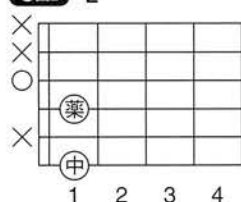


押さえた状態。

●図1 C7(9)



●図2 E♭



●図3 F

